

TD講習会

2024年1月27日

競技運営委員会

本講習会の目的

- 対象：TD名簿への新規/継続掲載を希望する方に
- 目的：TDの役割や業務を確認いただく

第3章 競技運営規程 テクニカルデレゲート制度規程

第8条 テクニカルデレゲートの育成について

TDの育成にあたっては、原則として毎年1回TD講習会を行う

講習会の流れ

- 競技会での役割分担とTDの役割
- TD業務の流れ 大会前～中～後
- さいごに

終了後は出席登録フォームへの登録が必要です

- オンデマンド参加の方も含め、全員**2024年2月10日（土）まで**に出席登録フォームへの登録が必要です
- 講習会終了後に資料と登録フォームをご案内します
- 登録フォームは試験を含みます

試験ではTDの役割と業務について確認します

出席登録フォーム内で、ざっくり以下を問います。

- **コンペティションマネジャーやジュリーと比較したTDの役割**
- **TDが大会前・中・後にどんな業務を行うか**
- **競技会の質を向上させていくために、TDとして何ができそうか**

競技会での役割分担

競技役員、 Jury、 TD... 役割の違い、ピンとききますか？

競技役員の上司は？



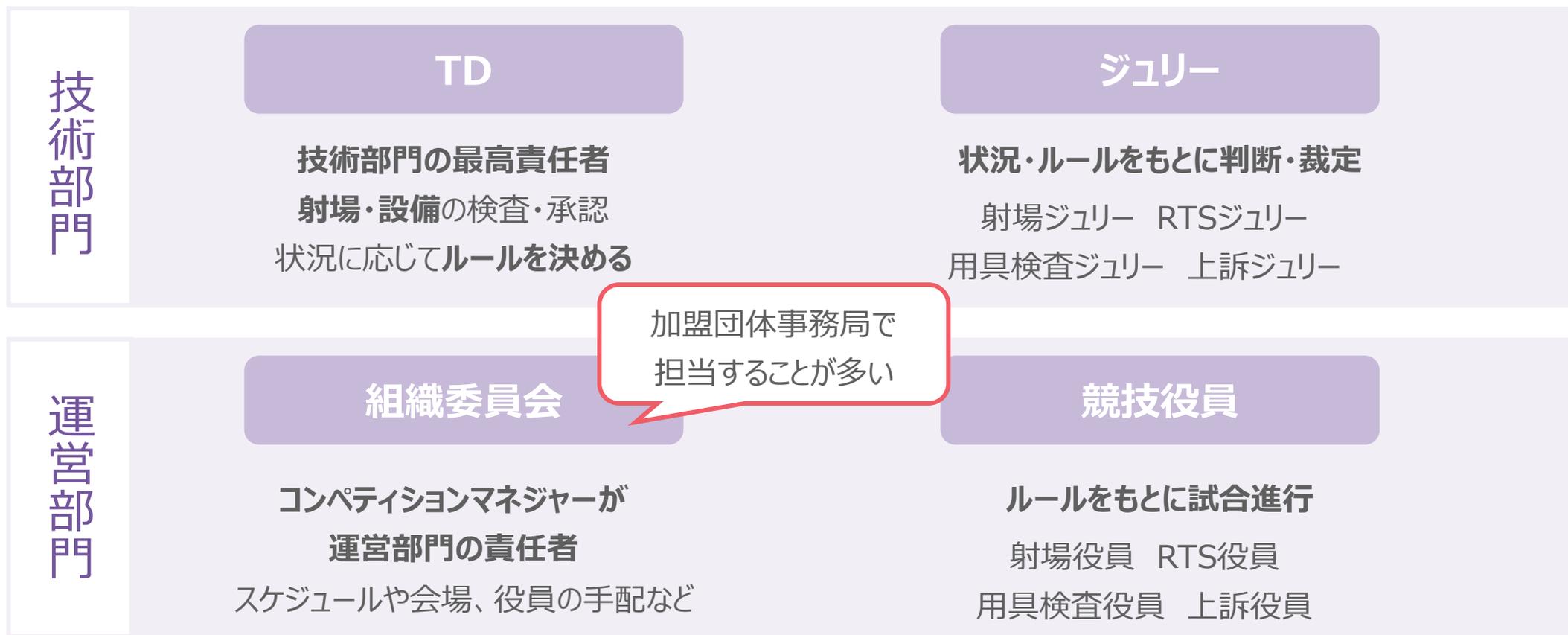
Juryが色々決める？

TDは何をしてる？

組織委員会って何？

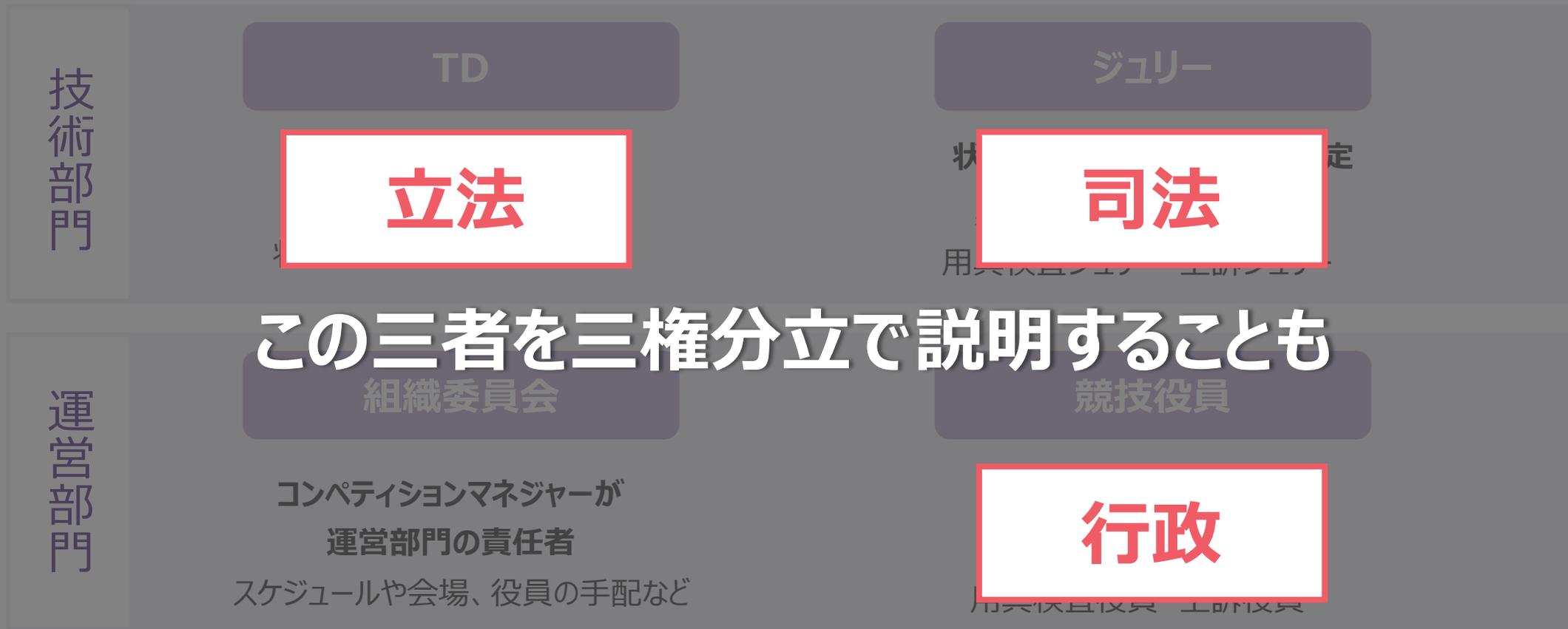
「技術」と「運営」

技術部門、運営部門に分かれる



「技術」と「運営」

技術部門、運営部門に分かれる

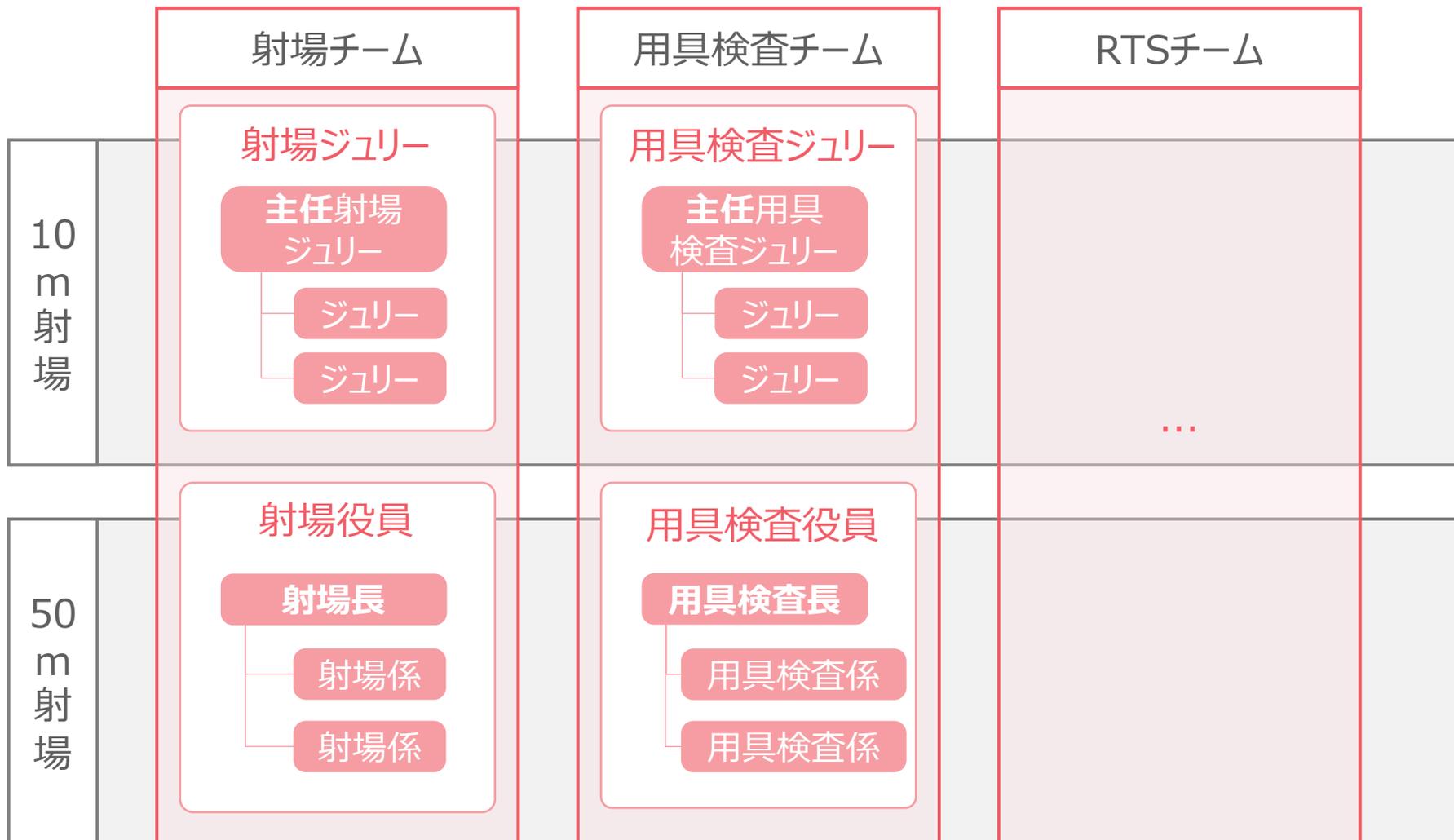


この三者を三権分立で説明することも

ジュリーと競技役員：競技会における役割分担

	射場チーム	用具検査チーム	RTSチーム
10 m 射場			
50 m 射場			

ジュリーと競技役員：競技会における役割分担



役員配置表と各役割

2023全日本選手権@栃木 役員配置表 (G1) ※一部名前を差し替えています

組織委員会 (競技会運営役員) 敬称省略

役職	必要資格	人数	
大会会長	主催者代表		組織委員会 郎
コンペティションマネージャー (競技会運営責任者)		1名	三木容子
チーフレンジオフィサー (射場長)	本部公認		50m 杉崎礼子 日中辰美
チーフRTSオフィサー (RTS長)	本部公認	1名	粟生由紀
チーフECオフィサー (用具検査長)	本部公認	1名	山下せろな
レンジオフィサー (競技役員)	公認審判員が望ましい	各射撃場10射座につき1名以上配置	江澤誠 永井良明
RTSオフィサー (RTS役員)	公認審判員	各射撃場1名以上	50m 谷川諒 10m 深澤佑樹
ECオフィサー (用具検査役員)	公認審判員	6名以上	小野広人 江頭龍士郎 渡辺奏乃音 江澤誠 永井良明 山下せろな
ESTオフィサー	公認審判員	各射撃場1名	50m 谷川諒 10m 深澤佑樹

TD及びジュリー (競技会技術役員)

★=主任ジュリー

名称	必要資格	人数	
テクニカルデレгат (競技会技術責任者)	TD名簿掲載者		TD
ジュリーオブアピール (上訴ジュリー)	本部公認		ジュリー
ライフルジュリー	本部公認	3名以上	溝部政司 田中僚一郎 佐橋朋木★
ピストルジュリー	本部公認	3名以上	溝部政司 田中僚一郎 佐橋朋木★
RTSジュリー	本部公認	3名以上	溝部政司★ 田中僚一郎 佐橋朋木
ECジュリー (用具検査ジュリー)	本部公認	2名以上	溝部政司 田中僚一郎★ 佐橋朋木

技術部門

運営部門

日ラの規程はどこでみられるでしょうか？

ホーム	協会について	大会情報	競技を始める	競技について	会員向け情報	ライフルQ&A
		第2章 会務・会員資格 名誉職および理事待遇参事選任等に係わる規程 (2019年7月20日制定、同日施行)			会員向け情報	
		第2章 会務・会員資格 役員候補選考基準 (内規) (2023年5月27日施行)			ルール情報	
		第2章 会務・会員資格 除名された会員の再登録に関するルール			認定コーチ	
		第2章 会務・会員資格 役員の報酬ならびに費用に関する規程 (2022年2月22日改訂)			推薦要綱と様式について	
		第2章 会務・会員資格 理事、監事、本部・委員会委員等の出張、出席に関する規程 (2023年7月8日改定、同年10月1日施行)			各種文書のダウンロードのご案内	
		第2章 会務・会員資格 財産管理運用規程(2020年7月11日施行)			書籍・グッズ類価格表	
		第2章 会務・会員資格 会計処理規程 (2022年4月1日施行)			JSCとの個人情報の共同利用について	
		第2章 会務・会員資格 協会公印規程 (200401改訂施行)			資料室	
		第2章 会務・会員資格 文書磁気データ・情報管理ガイドライン (2012年7月18日改訂施行)				
		第2章 会務・会員資格 NT日本代表選手の行動規範 (2018年7月18日制定)				
		第2章 会務・会員資格 寄付金取扱規程 (2022年4月1日施行)				
		第2章 会務・会員資格 資金運用規程(2022年4月1日施行)				
		第2章 会務・会員資格 内部管理体制整備に関する基本方針 (2021年12月4日施行)				
		第3章 競技運営規程 ドーピング防止規程(2021年7月21日改訂施行)				
		第3章 競技運営規程 公認審判員規程(2023年4月1日施行)				
		第3章 競技運営規程 テクニカルデレゲート制度規程 (2023年5月27日施行)				

https://www.riflesports.jp/member/rule_info/doc/general/rule03_03_Ver20230705.pdf

TDとは

第3章 競技運営規程 テクニカルデレゲート制度規程

第1条 テクニカルデレゲート制度導入の目的

競技会の開催にあたっては、**速やかで正確な運営と遂行**が不可欠である。このためには、主催者（日本ライフル射撃協会：以下日ラという）と主管者（競技会開催の地元競技団体）は、**共同して周到な準備**にあたらねばならない。

日ラは、公認審判員の中から、優れた競技会運営能力を持つ者を、テクニカルデレゲートとして育成し、適任と思われる者をテクニカルデレゲート（以下、TDという）として、競技会に配置することで**競技運営レベルの向上を図る**。

TDとは

第3章 競技運営規程 テクニカルデレゲート制度規程

第3条 テクニカルデレゲートについて

...地元の**組織委員会代表、競技委員長**ほかと**緊密な打ち合せと現地調査**を行い、**遅滞無く競技運営**ができるように指導、調整する役割を負う。

第4条 テクニカルデレゲートの業務について

TDは、当該競技会の技術最高責任者として、**競技会における技術面の一切の権限**を持ち、 Jury 団、ならびに競技役員と緊密に連絡を取って全ての判断を行い、その裁定はその競技会における最終判断とする。

また、**競技会の運営に関する問題点を見出したときには、その改善を図るために、日々の競技運営委員会に対する意見答申を行う義務**を持つ。

ISSFでは

6.4.1.9 テクニカルデレゲートは**射場およびその他の設備がISSFルールに合致していることを確認する検査に責任を負い**

6.4.1.10 テクニカルデレゲートは、射距離と標的の規格を除き、**ISSFの主旨と精神に反するものでなければ若干の規格変更を承認してもよい。**

6.5(c) テクニカルデレゲートまたは**主任用具検査ジュリーは競技会に先立ってすべてのゲージおよび測定器具を検査し承認しなければならない。**

6.6.1.2 ISSF事務局、組織委員会およびその大会の**テクニカルデレゲートは各選手権大会の詳細な公式スケジュールを準備しなければならない。**

6.14.9.5 世界記録が生まれた場合、テクニカルデレゲートによって**世界記録の確認手順（GR3.12.3.6、様式R）の報告が作成され、ISSF本部に送られなければならない。**

...他色々

TDの役割

- **技術面**の代表、大会の**品質管理**の責任を負う
 - 技術面は Jury と、運営面は組織委員会、競技役員と密に連携を取る
 - 射場や設備（測定器具、標的、射座...）、スケジュール、各種報告（Juryからの報告、TD報告、日本記録報告）の責任者
- 競技運営に関して、日々に**改善提案**を行う義務
 - 各種報告とともに今後の競技運営をより良くする責務がある

TD業務の流れ

大会前

TDの業務とは？

第3章 競技運営規程 テクニカルデレゲート制度規程

第4条 テクニカルデレゲートの業務について

TDは、当該競技会の技術最高責任者として、競技会における技術面の一切の権限を持ち、 Jury 団、ならびに競技役員と緊密に連絡を取って全ての判断を行い、その裁定はその競技会における最終判断とする。

また、競技会の運営に関する問題点を見出したときには、その改善を図るために、日ラの競技運営委員会に対する意見答申を行う義務を持つ。

主たる業務は、次のとおりである。

- ① 組織委員会のプラン、準備、運営手順、射場等に関する助言と助力
- ② 準備、射場等が選手権として受け入れられるかどうか検査
- ③ 競技会が日ラ競技規則に沿って行われているかどうか Jury と協力して確認
- ④ 競技会が I S S F 規則通りに行われているかどうか Jury と協力して確認
- ⑤ アンチドーピング規程にのっとり実施されていることを確認
- ⑥ 事務局への報告（記録、試合運営等）

競技会に出役した審判員の評価を行い「TD 審判評価表」により日ラ競技運営委員会宛てに報告

大会前：組織委員会と連携した承認・調整

- 「格付規程」の役員配置等の基準を満たしているか？
- 組織委員会が取りまとめ・作成をしているものもあるが、最終的な承認・責任者はTD
- TDとして品質担保のために事前に連携・確認が必須

1. 要項/公式スケジュールのレビュー、決定
2. 射場/設備の検査・準備
3. 役員配置の確認
4. その他組織委員会とのすり合わせ

1. 要項/公式スケジュールのレビュー、決定

- 少なくとも**3ヶ月前**には競技運営委員会に要項を提出する
- 最終承認・責任者はTD
- 組織委員会の意図を尊重しつつも、規程や実現可能性と照らし合わせて調整する

スケジュールに無理はないか？

用具検査は？ PETは？



2.射場/設備の検査・準備

- 過去大会実施したことがない射場は要チェック、チェックリスト活用（HP掲載）
- 各セクションで必要な備品（IRやCN等の書類、キャリブレーションキットなど忘れがち）
- グレードに合った標的設備か

バリアフリーな会場か？

グレードに合った設備か？

用具検査器とキャリブレーションキットは揃っているか？



3. ジュリー選定、競技役員選定の確認

- **格付規程の基準通りの配置か？**
- 本人の得意分野や経験・スキル、セクションに求められる特性と照らし合わせて調整する
- 当日受付、段級受付など組織委員会の役割も確認する
- **競技会実施 2 週間前**までに競技運営委員会に**審判員配置計画**を提出し、競技運営委員会の承認を得る（テクニカルデレゲート制度規程 第5条）

規程に応じた配置か？

このジュリーは用具検査の経験があまりないから
主任用具検査ジュリーは別の人にしよう



4. その他組織委員会とのすり合わせ

- エントリーリストやスタートリスト（射座割）の確認
- インテグリティ受講状況確認、未受講者への対応方針を策定
- 感染症や熱中症の対策
- 表彰式の実施有無、必要備品（賞状・メダル）、プレゼンターの確認

TD業務の流れ

大会中

大会中：各セクションとの連携、各種報告の取りまとめが中心

1. ジュリー、競技役員との連携
2. ファイナルの準備/対応
3. 記録報告対応・作成
4. 技術・運営サイドからのフィードバック収集
5. TD報告に必要な書類の確保

1. ジュリー、競技役員との連携

- 必要に応じて役割の認識合わせ
 - 例：射場役員に、射場長は裁定せず、ジュリーへ連携することと伝える
 - 例：射場ジュリーに、PET中によく射手をチェックし（ジュニアやユースへの）警告はコーチに行うように伝える
- 競技会が規則通りに行われているか
- トラブルが発生していたら**提案・意見**することも
- **最終判断は担当範囲の責任者が行う**（ジュリーの裁定範囲に介入しない）



2. ファイナルの準備/対応

- 入場の流れや備品の位置を役員、 Jury 含め事前に確認しておく
- トラブル対応、スムーズな進行のために常にファイナルをチェック

3. 記録報告対応・作成

- 日本記録を**事前にRTS Juryと共有**しておく
- 記録報告に必要な書類収集を**事前にRTSに依頼・指示**
- 日ラへ**すぐに提出**

4. 技術・運営サイドからのフィードバック収集

- 主任ジュリーやチーフ等の役員や、組織委員会から**改善点や好事例**を聞いておき、TD報告（グレードによる）や**競技運営委員会へのフィードバック**に活用する

5. TD報告に必要な書類の確保

- 必要書類を大会中に確保しておく（報告が必要なIRや抗議書類APなど）
- TD報告（役員配置表も忘れずに） + 日本記録 ※グレードによる

TD業務の流れ

大会後

大会後：各種報告を迅速に

- 記録報告シートのアップロードの進捗確認
- TD報告（グレードによる）、競技運営委員会へのフィードバック
 - 主任ジュリー、競技役員や組織委員会からのフィードバックも踏まえて
 - 次の試合に改善すべき点やノウハウを生かすための報告
- 日本記録申請（グレードによる）

さいごに

TD名簿登録の流れ

1. 加盟団体の推薦
 2. 受講登録フォームへの登録（講習会申込）
 3. 出席登録フォームへの登録（2024年2月10日（土）まで）
- 以上が揃っていることを確認し、2月25日の理事会後、2024年4月1日から3カ年のTD名簿を公開します

お知らせ

- 新ルール公開してます（詳細は審判講習会で）

The screenshot shows the website's navigation menu at the top with items: ホーム, 協会について, 大会情報, 競技を始める, 競技について, 会員向け情報, and ライフルQ&A. The main content area is titled "競技ルール2023年11月1日版" and features a prominent green button labeled "一括版". Below this, there is a list of links for chapters 6 through 10, including "各種様式". A section titled "新旧対応表" contains links for "第6章新旧対応表", "第7章新旧対応表", and "第8章新旧対応表". On the right side, a green sidebar menu lists: 会員向け情報, ルール情報, 認定コーチ, 推薦要綱と様式について, 各種文書のダウンロードのご案内, 書籍・グッズ類価格表, JSCとの個人情報の共同利用について, and 資料室.

https://www.riflesports.jp/rule_info/